水土里ネット奈良

奈良の土地改良

発行：令和３年10月
奈良県土地改良事業団体連合会
奈良県橿原市城殿町４５９番地
TEL0744-29-1310
FAX0744-29-1312
https://www.naradoren.or.jp

柿の花　５月に開花

平核無柿

富有柿

柿の葉の紅葉

目　次

１．　政策提案･要望活動 ･･ 1
２．　令和3年度 近畿の農業･農村の振興に関する提案･要望活動 ･･････････････････････････ 2
３．　全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏 来県、現地視察 ･･････････ 3
４．　令和３年度 奈良県土地改良区連絡協議会総会･研修会 開催 ･･････････････････････ 5
５．　令和３年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会総会 開催
６．　『この五年間を振り返って』 ･･ 6
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子
７．　令和３年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催 ･･････････････････････････ 7
８．　ハスの花畑を訪ねて ー山添村ー
９．　令和３年度 奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会 開催 ･･････････････････････ 8
１０．　土地改良区紹介 五條吉野土地改良区の現状 -未来型儲かる農業経営を目指して- ･････ 9
１１．　事業紹介 国営施設応急対策事業 五条吉野地区 ･･････････････････････････････ １１
県営畑地帯総合整備事業 下市町栃原地区 ･･････････････････････････････ １２
１２．　奈良県農村地域づくり協議会 正会員のご紹介(山添村波多野地区活性化協議会) ･･････ １３
１３．　水土里ネット奈良 各課のご紹介(技術課) ･･････････････････････････････････････ １４

政策提案・要望活動

令和３年7月12日(月)、13日(火)に、奈良県の農業農村整備事業の推進のため、また令和４年度の予算確保に向け、奈良県土地改良事業団体連合会、奈良県農業農村整備事業推進協議会、奈良県土地改良区連絡協議会３者合同で、農林水産省・財務省及び国会議員に、令和4年度の政策提案・要望活動を行いました。

農林水産省　農村振興局　安部伸治　次長

農林水産省　整備部　川合規史　部長

財務省　主計局　野村宗成　主計官

高市早苗　衆議院議員

田野瀬太道　衆議院議員

奥野信亮　衆議院議員

堀井巌　参議院議員

佐藤啓　参議院議員

進藤金日子　参議院議員

宮崎雅夫　参議院議員

【奈良県の農業・農村の振興に関する提案書】

１．産地の競争力強化のための水利施設の整備や更新、長寿命化対策にかかる支援と必要な予算の確保

２．農地集積、高収益作物導入に向けた基盤整備をはじめ、地域の実情に応じた整備への支援と必要な予算の確保

３．防災重点ため池の整備や治水利用、ハザードマップ作成や機能診断調査など、農地防災・減災、国土強靱化緊急対策について、十分な予算を確保するとともに、流域治水に貢献する土地改良施設の管理負担軽減策の検討

４．効率的かつ適切な土地改良施設の保全・管理体制強化を図るため、
（１）ため池管理にかかる研修、パトロール、監視等に対する支援
（２）土地改良施設診断・指導を行う土地改良区体制強化事業の充実
（３）複式簿記会計導入など、改正土地改良法の適切な運用を図るため、土地改良区運営基盤強化の対策と支援強化
（４）人・農地プランの実質化に向けた農地情報の一元化や土地改良施設管理の効率化に資する水土里情報活用に向けた支援強化
（５）気候変動による豪雨災害の頻発化・激甚化や農業構造・営農形態の変化および流域治水におけるため池治水利用、田んぼダム等に対応できるよう農業水利施設の維持管理に関する支援強化

５．農地や水路・農道等、農村の資源を良好に保全し、多面的機能の発揮を継続するため、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金及び推進交付金の充実と必要な予算の確保

令和3年度　近畿の農業・農村の振興に関する提案・要望活動

令和３年7月20日(火)、ホテルルビノ京都堀川で、近畿水土里ネット連合協議会(近畿6府県の土地改良事業団体連合会)は、令和4年度農業農村整備関係予算の確保等を目的として、近畿農政局へ提案・要望活動を行いました。

【実施内容】

１.近畿農政局　関係課長等との意見交換会

◇近畿の農業・農村の振興に関する提案書説明

近畿水土里ネット連合協議会
（当番県）大阪府土地改良事業団体連合会

【提案事項】

1　農業農村整備事業の着実かつ円滑な推進ならびに関係予算の確保
2　土地改良施設等の管理に対する支援制度の充実
3　災害復旧事業への支援制度の充実と強化
4　日本型直接支払制度の円滑な推進
5　役割増大に伴う土地改良区の運営基盤の強化
6　土地改良事業団体連合会の運営基盤の強化
7　新型コロナ感染症の拡大防止に係る土地改良区等への支援

◇各府県水土里ネットからの提案・要望

奈良県土地改良事業団体連合会からは菅谷常務理事が参加し、ため池パトロールはじめ、ため池の管理にかかる支援の充実、土地改良区が管理する施設の維持管理支援制度の創設、水土里情報に対する支援強化等について提案・要望を行いました。

水土里ネット奈良
菅谷 義寛 常務理事

２．近畿農政局への要望活動(個別訪問)

近畿農政局　大坪 正人　局長

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏 来県、現地視察

令和３年８月６日(金)、令和３年９月２２日(水)、進藤議員が現地視察、意見交換に来県されました。

【令和３年８月６日(金)】

五条吉野地区の土地改良関係の方々に国政報告を行い意見交換

国営事業の事業費増に伴う農家負担の課題、集落営農組織への財政支援の必要性、農地中間管理機構集積協力金交付事業の継続要請などをお聴きしました。

下市町栃原地域の土地改良関係と林業関係の方々に国政報告を行い意見交換

深刻な鳥獣被害の早急な対策の必要性、ウッドショック下での山元への利益還元の必要性、農家住宅整備による新規就農者確保の必要性、木材加工産業への支援の必要性など熱いご意見を頂戴しました。

田原本町の農事組合法人多集落営農組合で意見交換

古事記を編纂した「太安万侶」ゆかりの多(おお)地区で、営農活動を中心に地域の活性化に努める実践状況をお聴きしました。地域を思う深い愛情、農地の大区画化への思い、そして婦人部の活動の素晴らしさが印象的でした。

【令和３年９月２２日(水)】

倉橋溜池土地改良区（田原本町）管内現地視察

昭和初期に建設された水路の老朽化が著しく予定通りの改修事業の実施を要請されました。

大和高原北部土地改良区（山添村上津：上津ダム管理所）国政報告を行い意見交換

多面的機能支払制度の事務負担軽減と長寿命化対策の予算確保の要請、土地改良区の賦課金軽減策実施の必要性、山羊等を活用した草刈実施の有用性と補助事業化の要請、来年度要求の集落営農活性化プロジェクト促進事業創設の要請などの声をお聴きしました。

大和高原南部土地改良区（宇陀市大宇陀迫間）国政報告を行い意見交換

果物等の種子や苗の知的財産権保護の緊急性、多面的機能支払制度を活用した災害復旧制度の柔軟な運用の必要性、獣害防止柵設置の課題、中山間地域等直接支払制度の更なる要件緩和の必要性、営農型太陽光発電施設設置運用の課題などの声をお聴きしました。

宇陀市伊那佐東部地区（宇陀市榛原大貝：（有）山口農園）伊那佐東部地区の取り組み内容、国政報告を行い意見交換

(有)山口農園さんから取組内容と有機農業展開の課題等について意見をお聴きしました。本年度から農水省が取組を開始した「みどりの食料システム戦略」を進める上で、大変有用な示唆をいただきました。

(文：参議院議員　進藤金日子フェイスブックより引用)

令和３年度　奈良県土地改良区連絡協議会総会・研修会　開催

令和３年８月６日(金)、奈良ロイヤルホテル　２階「鳳凰の間」において、令和３年度　奈良県土地改良区連絡協議会総会・研修会を開催しました。

来賓祝辞では、荒井 正吾　奈良県知事より農業用水確保に苦労した歴史があったが、現在は水道の一元化プロジェクトが進んでいること、好条件の農地として良い担い手がつくような仕組みづくりを考えていること、ため池については、治水機能も持たせて利水・治水の両方の利用を推進したいとのお話がありました。

また、奥野信亮顧問より土地改良予算確保に対する進藤議員への感謝と、ため池整備を県と力を合わせて推進し、今後も皆様のご協力をお願いしたいと挨拶がありました。

総会は、中筋会長議事進行の下、令和２年度事業報告及び決算報告並びに令和３年度事業計画及び収支予算（案）が審議され、原案どおりに承認を得ました。

総会終了後、研修会として全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏より「この５年間を振り返って」（Ｐ６参照）と題して講演をいただきました。

主催者挨拶
奈良県土地改良区連絡協議会
会長　中筋　弘

来賓祝辞
奈良県
知事　荒井　正吾

研修会挨拶
奈良県土地改良区連絡協議会
顧問　奥野　信亮

閉会挨拶
奈良県土地改良区連絡協議会
副会長　金澤　秀樹

令和３年度　奈良県農業農村整備事業推進協議会総会　開催

令和３年９月２２日(水)、大和平野土地改良区 大会議室において、令和３年度　奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会を開催しました。

協議会会長、上田大和郡山市長より開会の挨拶、奈良県食と農の振興部 農村振興課 長谷川課長の来賓挨拶に続き、上田会長が議長を務め、議案が審議され原案どおりに承認を得ました。

総会終了後、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏（Ｐ６参照）及び県施策について県 長谷川課長より情報提供がありました。

議案
第１号議案　令和２年度事業報告並びに収支決算について
第２号議案　令和３年度事業計画（案）について
第３号議案　令和３年度会費の徴収（案）について
第４号議案　令和３年度収支予算（案）について
第５号議案　任期満了に伴う役員の改選について

来賓挨拶
奈良県食と農の振興部農村振興課
課長　長谷川　憲生

議長　会長
大和郡山市長　上田　清

監査報告　監事
五條市長　太田　好紀

閉会挨拶　副会長
曽爾村長　芝田　秀数

『この五年間を振り返って』
全国水土里ネット会長会議顧問　進藤金日子

令和３年度 奈良県土地改良区連絡協議会総会・研修会、令和３年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会総会において、全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子氏より５年間の政治活動の実績を振り返りながら「農政の現状と課題に対応した土地改良の５つの役割」と「進藤金日子、６つの全力」についてご講演頂きました。概要を以下に掲載します。

「農政の現状と課題に対応した土地改良の５つの役割」

1.米政策・米の価格の話

主食用米の消費減少による転換と水田フル活用対策に伴う暗渠排水をはじめとした土地改良や圃場整備、スマート農業技術の整備をしっかりやっていく。

2.人・農地プランの話

人・農地プランの鍵を握っているのは土地改良区である。土地改良区の中で施設の改修計画と共にコーディネーターとして主体的に進めていく仕組みづくりが必要。

3.輸出の話

奈良からもどんどん輸出をしていく基盤を作らなければいけない。富山県で全国で初めて輸出促進型国営事業の圃場整備が始まる。輸出促進に土地改良が積極的に取り組んでいかなければいけない。

4.地域政策

ポストコロナを見据え、地域資源を活かしてコロナで都市離れした若者の受け皿となるような地域政策をしていかなければいけない。

5.緑の食料システム戦略

日本食料システムの中で、生産部分だけでなく調達の部分、流通、商品が出るまでにいかに環境に負荷をかけないか、土地改良もカーボンニュートラルに貢献できることがある。

「進藤金日子、６つの全力」

１.土地改良の予算確保

一番下がっていた平成２４年度から見ると3倍近く、私が政治活動をしてからでは１.７倍の６,３００億円にまでなった。これを安定予算に変えていくことがこれからの課題。制度として面積要件なしの市街化区域事業の活用をできるところがあれば、土地改良事業団体連合会、県の方にご相談頂きたい。

２.日本型直接支払制度の充実

事務負担の軽減や中山間地域直接支払制度や多面的機能発揮対策などについて、地域の皆さんの声をくみ上げ、制度の充実を図る。

３.災害に強い農山漁村づくり

昨年度までの防災・減災対策、国土強靭化３カ年緊急対策、今年度からは５カ年加速化対策をやっていく。この中でも土地改良をしっかりやっていく。そして、ため池工事の特別措置法が昨年議員立法でできたが、法律制定が目的でなくこれからどう動かしていくか、市町村の負担を減らしながら、それぞれの連携の中でそれぞれが責任を果たせるように執行状況を見ながら、進めていきたい。

４.美しい農山漁村の継承

地域政策をやってきたがまだまだ足りない。地域政策や土地改良など、更に魂を込めて政策をつくっていかなければいけない。しっかり対応して参りたい。

５.女性の視点を大切にした政策

女性の力がかかせない。今後の農林水産基盤づくりについても女性の意見を踏まえた展開が重要で、女性の視点を重視した政策展開をしていきたい。

６.農林水産業と農山漁村への国民の理解促進

食料生産の農林水産業とともに、ＣＯ２吸収の森林環境づくりを国民のために担っている省庁であるということが国民にわかる政策づくりをしていかなければならない。

令和３年度
奈良県土地改良区連絡協議会総会・研修会

令和３年度
奈良県農業農村整備事業推進協議会総会

令和３年度　奈良県土地改良事業団体連合会　理事会　開催

令和３年７月１９日(月)、大和平野土地改良区３階 理事会室において、令和３年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。
上田議長の下、議案が審議され、原案どおりに承認を得ました。
その他として【農道台帳管理賦課金の改正（案）について】説明し承認されました。

議案

第１号議案　令和２年度事業報告について
第２号議案　令和２年度会計収支決算書、
貸借対照表及び財産目録について

挨拶
奥野 信亮 会長

来賓祝辞
乾 新弥
奈良県食と農の振興部長

監査報告
永田 正利 監事

事務局より
上田 清 大和郡山市長に
６期目当選の花束が
贈呈されました。

ハスの花畑を訪ねて　-山添村-

令和２年度 農業振興功績者表彰（公益財団法人 農業振興会館 ）で着想賞を受賞された山添村広代の 浦﨑 彰夫さんが育てているハスの花が約1万平方メートルのれんこんの棚田に約30種類開花しています。
今年１月に表彰の取材に訪れた時は、花の時期ではなかったので、是非とも見せてもらいたいね、と話していました。
今回は大きなハスの葉の緑のキャンパスに白、ピンクの花々が彩りを添えていました。

【山添村のふるさと納税返礼品】
・「花ハス取り体験」
・「れんこん」掘り体験
・「れんこん2kg」
【レンコン掘り体験】
山添村観光協会HP
(https://yamazoekanko.jp)
体験する>「農業体験」
>「レンコン掘り体験」/広が代農場

撮影：令和３年８月１１日

令和３年度　奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会　開催

令和３年9月9日(木)、大和平野土地改良区 大会議室において、奈良県、奈良県農業協同組合、23市町村、奈良県土地改良事業団体連合会の会員総数２６名全員の出席（本人出席８名、委任状による出席１名、書面議決書による出席１７名）のもと、令和３年度　奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会を開催しました。

菅谷会長より開会挨拶の後、広陵町 中川理事が議長に選出され、議事に入り、第１号議案、監事の選任については、奈良市 観光経済部長 仲西範嘉氏、田原本町 産業建設部長 田邉義巳氏の2名が選任されました。引き続き第２号議案、第３号議案の審議に入り、２議案とも原案通りに可決承認を得ました。

また、奈良県食と農の振興部農村振興課より、多面的機能支払交付金の令和３年度改正点についての情報提供がありました。

挨拶　菅谷会長

議長　広陵町　中川理事

議案

第１号議案　監事の選任について

第２号議案　令和２年度事業報告及び会計決算について

第３号議案　令和３年度事業計画及び会計収支予算（案）について

監査報告　田原本町
産業建設部　田邊部長

●多面的機能支払交付金　令和３年度改正点●

・田んぼダムの取組を行い、一定の取組面積等の要件を満たす場合、資源向上支払(共同)の単価が加算される

・鳥獣被害防止対策も対象の活動内容となる

・法人化した活動組織は金銭出納簿の市町村への提出が不要となる

・市町村へ提出する報告書等における押印が省略可能となる

奈良県食と農の振興部
農村振興課　長谷川課長

奈良県 食と農の振興部
農村振興課　小寺係長

土地改良区紹介

五條吉野土地改良区の現状
- 未来型儲かる農業経営を目指して -

地域の概要

五條吉野土地改良区は、奈良県中西部に位置し吉野川沿いの標高１３０m～５００mの中山間地帯で、山林・原野とこれに隣接した既成果樹園で占められており、全国でも有数の柿の主産地となっております。

しかし、優良農地が少なく経営規模が零細であることや、かんがい用水が確保されていないことから、品質・収量面においての立ち遅れなど、農業の近代化が図れないままとなっておりました。このため、国営総合農地開発事業によって、農地（樹園地）を造成し受益農家の経営規模の拡大を図るとともに、畑地かんがい施設の整備を行うことによって生産性の向上と農業経営の安定を図る事を目的に事業が行われ、これらの事業に伴って発展した柿の施設栽培は全国第一位で80%のシェアを誇り当該地区の柿生産を特徴付けるものとなっております。

一の木ダム堤体

取り組みの現況

当初のかん水は農家が管理するため池からポンプでくみ上げて行っていましたが、昭和49年から実施された国営農地開発事業により、一の木ダムが整備され又そのダムからの水を配水する畑地かんがい施設の整備がなされたことによって、配水施設が充実し管理が大変だったポンプやため池の水を使う必要がなくなり、かん水に係る労力が大幅に軽減されました。 現在は遠隔操作が可能なスプリンクラーも整備され自動でかん水するシステムも構築済みであり、その事が柿の品質の向上につながり大玉化にも結びつき安定した柿栽培経営が可能になりました。

既畑給水スタンド

スプリンクラーでのかん水

ハウス栽培による営農体系の転換

主に栽培されている柿は露地栽培が一般的であり、収穫は10月から11月が中心です。それを7月から収穫可能にするためハウス柿栽培に切り替えました。ハウス柿はビニールハウスの中で栽培される柿で品種は渋柿の刀根(トネ)早生柿が中心で、収穫は2か月ほど早く市場に出荷できるため、高収益な柿栽培に繋がり当該地域は、全国のハウス柿生産の約80%を占めるまでに産地として成長し市場での位置付けも確立されております。

五條市牧Ⅱ団地内にある柿ハウス群

スマート農業導入による生産コストの削減

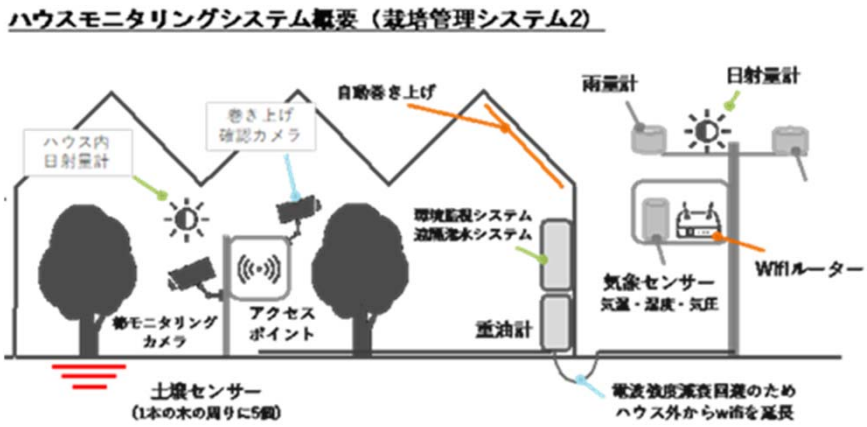
当改良区では、近畿大学及び企業連合と連携し、柿の露地栽培及びハウス栽培においてスマート機器を導入し、労働力の軽減を図っています。除草においては、リモコン草刈機を導入し、作業の省力化を実現し、収穫作業時においては、アシストスーツ及び遠隔制御運搬機を導入し、身体的負荷の軽減を図っております。

キャビン型防除機械

アシストスーツ

一方、ICT技術の導入も積極的に行い、PC又はスマートフォンにて、自動かん水やハウスカーテンの自動開閉及び加温機の消費油量の遠隔監視を行えるようになっております。また、各種センサーを設置して、土壌水分、温湿度及び雨量等の環境情報のモニタリングシステムを構築し可視化したことで、かん水管理を適切に行うことが可能となり、高糖度で大玉の柿栽培を図っております。

又気象センサーを設置し、圃場の状態を確認するとともに防災面で地元住民の方にも活用できるような仕組みを構築致しました。



リモコン草刈機

事業紹介	国営施設応急対策事業	五条吉野地区

国営五条吉野土地改良事業（S49～H13）により造成されたダムの水管理施設の経年劣化や管水路の内面腐食による漏水等の不測の事故が生じています。このため、応急対策事業として、ダムの水管理施設、道路橋の添架管（鋼製管）、揚水機場のポンプ・電気設備などの改修を実施し農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものです。

一の木ダム水管理施設

現行

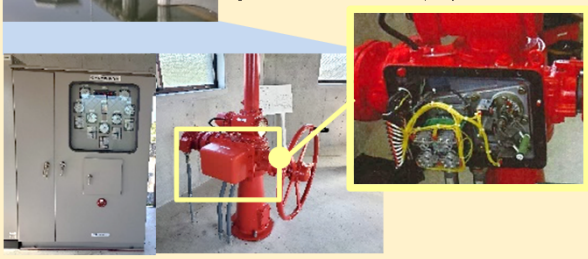
更新

橋梁添架管

管内面の腐食による漏水が頻繁に発生しています。

一の木ダムの取水ゲート等

電気信号等によるon-offで
接点等の経年劣化が
著しい状況です。



揚水機場

・ポンプ分解整備
・電気設備の更新

事業実施後の効果

① 用水の安定供給により大玉高品質化
② 造成畑は緩傾斜で大型の農業機械の導入やスプリンクラーかん水による営農労力の軽減
③ 造成畑における早生品種の導入により晩生品種中心の既成畑と作業時期を分散し、大規模経営が可能になる。

事業紹介	県営畑地帯総合整備事業	下市町栃原地区

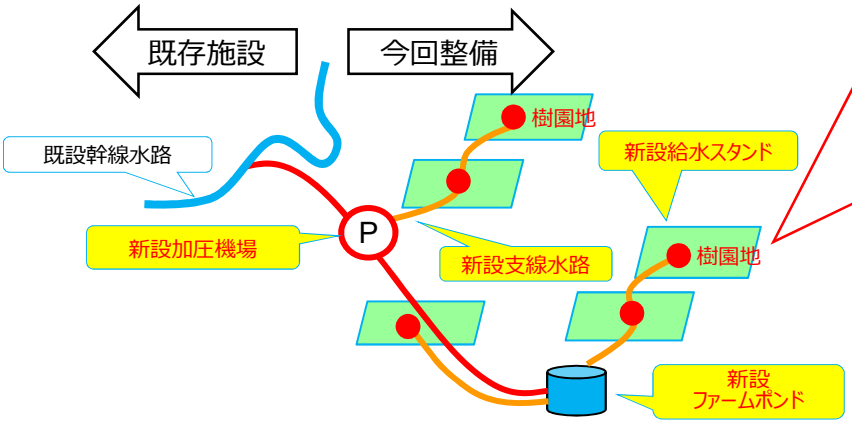
事 業 目 的

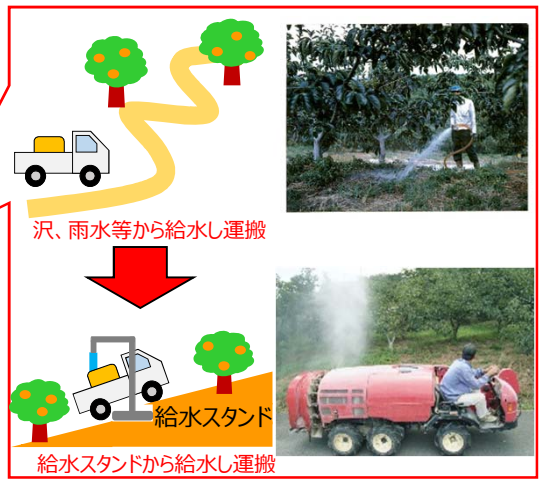
・新たな農業用水を確保することにより、安定した品質、収量を確保する。
・大玉化等の高付加価値化を推進し、守りの農業から攻めの農業に徹し海外輸出も含めた販路の拡大を図る。
・農業用水の整備により、作業条件を改善し、担い手の確保を図る。
・地域内の用水効果として当該事業で建設した施設を消防水利として活用を図る。
・本事業を契機に富有柿の需要拡大を図り、集約的な土地利用や産地の維持・活性化等の地域振興を図る。

事　業　名　　県営畑地帯総合整備事業
事 業 工 期　　令和３年度～令和７年度
受 益 面 積　　７１．２ｈａ
事 業 内 容　　畑地かんがい施設整備

既存施設（国営事業エリア）

今回整備（県営事業エリア）





おわりに

現在若手後継者は約１００名程度おられますが、管理作業及び収穫作業時においては人手不足が深刻な問題であります。そうした中、ICTの活用は大きな問題解決の可能性を秘めております。また、若手が中心になり造成畑の早生品種と既成畑の晩生品種を組み合わせ労働力の分散による作業効率、労働力の適正化を行なっております。

販売については海外に販路を広げ、今までの守りの農業から、攻めの農業に転じ、東南アジア中心だった輸出をアメリカにも目を向け、柿の生果実の輸出も模索しなければならないと思われます。 その為にも、農業者をはじめ土地改良区、研究機関、行政等が一体となり連携を深め問題解決に向け努力する必要があると考えます。

奈良県農村地域づくり協議会　正会員のご紹介

山添村波多野地区活性化協議会

山添村波多野地区活性化協議会は、通称、「かすがが－でん」（廃園となった旧春日保育園）を活動拠点として、お茶を中心とする農業体験と紅茶の生産を通じて、都市と農村の交流を図り、地域の魅力向上・活性化につなげ、山添村への移住・定住を促進することを目的に活動しています。

お茶作り体験では、茶摘みから加工までを体験し、自分オリジナルのお茶を作ることができます。季節野菜の植付けや収穫体験、古くから受け継がれるしめ縄づくり体験など、土の匂、風の音を感じながら農村文化に触れてもらうことができるイベントも開催しています。

自然栽培による茶葉を使用した山添村の「和紅茶」

ところで、約６０年前、山添村では紅茶生産が盛んで、森永製菓の紅茶工場がありました。高原の寒暖差が生む香り豊かな茶葉で作られた紅茶は、世界紅茶品評会で最優秀賞を受賞するという輝かしい歴史があります。当時は「べにほまれ」という品種で紅茶を製造していましたが、今は「やぶきた」という品種を加工し「山添村の和紅茶」として、「かすがが－でん」で販売しています。

また、日本初の紅茶専用品種である「べにほまれ」が茶園で発見されたことから、当時の紅茶を再現するための『べにほまれ復活プロジェクト』に取り組んでいます。

都市と農村の交流を目的とした農業体験イベントは、毎回満員となるほどの人気ぶりです。現在はコロナ禍の影響で人数制限や開催を中止したりと、コロナ禍以前のような活動はできていません。

今後はオンラインでの開催など工夫し、繋がりを絶やさないよう可能な限り継続していきます。和紅茶復活プロジェクトの「べにほまれ」が順調に育ち、まもなく茶摘みができそうです。

和紅茶づくりに挑戦!!

協議会では、お茶づくり体験など様々なイベントを実施しています。

コロナ感染症でイベント等が自粛される中の試みとして行われた、自宅でできる手作り茶体験モニターに参加して、和紅茶づくりに挑戦してみました。

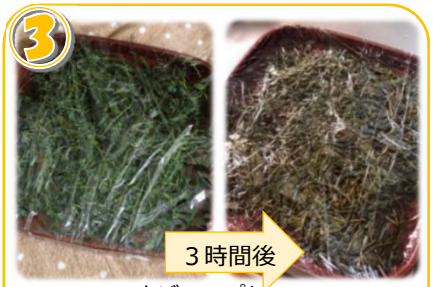
1

届いた茶葉を広げ、一晩陰干しにします。

2

約２０分もみます。水分が出てきてしんなりします。

3



広げてラップをして
毛布にくるみ発酵させます。
茶色く色が変わります。

4

天日干しにします。
だいぶ乾燥が進み、
嵩も低くなりました。

5

熱で発酵を
止めます。
併せて乾燥
させます。
（レンジでも可能）
フライパンで
煎って水分が抜
けたら、完成。

6

綺麗な色が
出ています。
マイブランドティーで
美味しく手作り
ティータイムです。

問合せ先
山添村役場
地域振興課
（平日9時～17時）
tel.0743-85-0048

水土里ネット奈良
各課のご紹介

・技術課・

技術課では、会員である市町村・土地改良区が土地改良事業を適切に実施するために技術的な支援や情報提供を行っています。また、令和３年７月より新たな業務として、「奈良県ため池支援センター」を開設しました。
新規および改修計画や施設の故障、防災重点ため池に関する管理・保全でお困りの点が御座いましたらお気軽にご相談下さい。

技術課の主な業務

● 技術第１課 ●

受託業務（計画策定、防災減災事業）、適正化事業、土地改良施設の診断・管理指導等、積算システム管理、災害復旧事業など

● 技術第２課・農地地図情報センター ●

受託業務（団体営事業、防災減災事業）、受託業務に伴うGIS業務、農地地図情報システム管理、農道台帳管理業務、災害復旧事業など

農地地図情報センター

● 職員紹介 ●

技術第1課所属の坂上 直と申します。当会に縁あって平成30年に採用され、本年で勤続4年目になります。元来寡黙で感情を表に出すことは少ないものの、この職場で良き上司良き後輩にめぐまれたこと、また私生活においては人生の伴侶を得たことで人との談笑に花を咲かせる機会が増えました。
現在は土地改良施設維持管理適正化事業の実施設計や災害復旧事業、補助版標準積算システム管理等に携わっています。職務遂行にあたっては丁寧にとりまとめ、堅実な成果としてお納めすることを心がけています。
まだまだ未熟者ではありますが、生まれ育った奈良県の農業振興に少しでも貢献できるよう精進して参ります。
今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和４年度　新卒　新規職員募集案内	
募集内容	◈設計技術者（情報処理、農業土木）(若干名) ・農道、水路の測量・設計、現場において立会 ・ＣＡＤを用いての設計、積算、ＧＩＳ（地図情報）システムの運用
受験資格	学校教育法による大学の学部（または大学院の修士課程)を令和４年３月までに卒業（修了）見込みの者
採用の流れ	(1)申込期間：令和３年１１月２２日（月）～１２月3日（金）必着 (2)１次試験：令和３年１２月１２日（日） (3)２次試験：令和４年１月１６日（日） ※詳細は一週間前までに連絡します。日時については予定であり、変更する場合があります。 (4)採用時期：令和４年４月１日
選考方法	(1)１次試験：筆記試験（一般教養試験・適性検査） (2)２次試験以降：筆記試験（専門科目）・面接試験他
提出書類	(1)履歴書（自書、写真貼付）　(2)在学校の卒業見込証明書　(3)在学校の成績証明書 ※応募される際、封筒の裏に「職員採用試験受験申込書在中」と朱書きしてください。 ※提出書類は返却いたしません。
勤務条件	(1)給与(参考)：大学卒（新卒）200,210円（地域手当含む） (2)諸手当：資格手当・扶養手当・住居手当・通勤手当・超過勤務（時間外）手当 (3)昇給：原則として年１回　(4)賞与：年２回（６月・１２月） (5)勤務時間：８時３０分～１７時１５分（時差通勤制あり） (6)休日休暇：土曜・日曜、祝日、年末年始（令和２年度実績１２７日）・年次有給休暇（２０日） その他の休暇（夏季休暇、特別休暇） (7)社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険 (8)勤務地：橿原市城殿町４５９番地
問い合わせ・連絡先	奈良県土地改良事業団体連合会　TEL：0744-29-1310　杉井（すぎい）まで

行事予定（１０月～１２月）

開催月	会議・行事名	開催(予定)地
10月27日(水)	(一財)日本水土総合研究所　奈良セミナー (協賛：奈良県土地改良事業団体連合会・(公財)農業振興会館)	大和平野土地改良区
11月	奈良県土地改良事業団体連合会 理事会・監事会	大和平野土地改良区
11月	令和４年度国予算にかかる政策提案	東京都
11月	公益財団法人農業振興会館「第２９回美アップ農村・レディセミナー」	奈良市
12月	令和３年度複式簿記推進特別研修	大和平野土地改良区
12月	奈良県土地改良区技術実践向上研修会	大和平野土地改良区
12月	令和３年度奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会、研修会	

※　今後、変更する場合があります。

● 編 集 後 記 ●

稲穂が垂れてきました。通勤の景色が緑から金色の平原に変化しているのが美しく、四季のある国に生まれ育って良かったと感じる瞬間です。(本誌を手に取られる頃には、稲刈りも終わっていますね。)

今号の表紙は、五條吉野土地改良区様より、柿の花、柿の実、柿の葉の紅葉写真を提供いただきました。他にも土地改良区紹介(P9,10)、事業紹介(P11,12)では、記事のご提供をいただきました。また、奈良県農村地域づくり協議会　正会員のご紹介(P13)では、山添村波多野地区活性化協議会様に記事のご協力をいただきました。ありがとうございました。

広報誌づくりや日々の仕事などを通じて、色々な方々のお話を伺う機会があります。土地改良を中心とした政策の話や自身が担当する奈良県農村地域づくり協議会会員の方々の活動の話。この春から始めたzoomの勉強会の方々の話。それらの話や体験を紙面に反映できるようにしていきたいと思っています。今号では、『和紅茶づくりに挑戦!!』させてもらいました。コロナ禍でもイベントを体験できます。この紙面を通じて、興味を持ってもらえれば嬉しいです。（西口）